

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社でん六

山形市にある株式会社でん六の箱山亜美さん取材しました！

箱山さんは、山形大学人文学部を卒業した後、2019年に入社しました。

現在は、経営企画室宣伝企画課で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

私は広報を担当しています。具体的には、商品のPOP（店頭置く広告・宣伝物のこと）を作ったり、広告を作成したりしています。あとは、社内報にも関わることが多いです。私の作成したPOPは、スーパーとかドラッグストアで使われています。今はSNSに掲載するためのPOPも作っています。

デザイン系の仕事が多いのですが、私は今までデザインはまったくしてこなかったので、まずは他企業の商品POPや広告を参考にるところから始め、自分なりにおしゃれになるように頑張っています。



——社内報は具体的にどのような内容ですか？

社内報は年に3回発行しますが、社内のイベントを主にまとめています。それぞれの号で、大きなイベントに関する内容を載せる感じですね。例えば、この号は「節分」が大きなテーマになっています。やっぱりでん六といえば豆なので、節分には結構力を入れています。

他にも、異動した人たちが、「今こんなところで頑張っていますよ！」という特集もあります。幅広い年代の方を掲載していますね。



——世代や性別を問わず、様々な人が自分ごととして見られる社内報だと思いました。ところで、入社してよかったと思うことはありますか。



私の所属する課に限定かもしれないのですが、CM制作やイベントの舞台裏など、普段は見られない場所に行けることがありがたいなと思っています。後は小腹が空いたときに、でん六のお菓子をいつでも食べられることも大きいですね。結構あちこちでポリポリ食べています（笑）。

——広告作成でこだわっているところはありますか。

若年層に向けては、ちょっと垢抜けたデザインにしたいと思っています。例えば、「でんちゃんを使った某有名ディスカウントストアっぽいPOP」を作ったときもあって、そういう若い人を意識した文字の書体を使うこともあります。

——この仕事をするまでそのデザインの経験がないということですが、デザインについてどうやって勉強したのですか。

入社したときに、イラストレーターやフォトショップなどのデザインソフトに関するテキスト本をもらって学びました。同じ課の人達もデザイン系の学校出身ではないので、まずは独学ですね。やりながら、調べながらという感じで学びました。

実際には、営業担当者とPOPのイメージを繰り返し打ち合わせながら作成します。いくつかの案を出して、その中から選んでもらったものを修正して進める感じですね。

(2) 職場編

——でん六に就職を決めた理由を教えてください。



私は働くなら、身近なお菓子に関わりたいという思いがありました。私はおばあちゃん子で、小学校から帰ってきたら茶の間に開かれているおばあちゃんの女子会に混ぜてもらって、一緒にお茶を飲むのが習慣でした。そこで出されていたお茶菓子がでん六の商品が多かったのが、小さい頃から身近に感じていたお菓子でした。その商品作りに関わってみたいと思ったのがきっかけになりました。

——村山地域で就職を決めた理由は何かありますか。

私は新庄出身なのですが、友人や家族が山形県に集結しているので、いつでも会えるというちょっと安直な考えからですね（笑）。

——入社してから今の課に配属されるまで、どんなかたちでしたか。

入社して1ヶ月間は研修期間ですので、蔵王の森工場、本社工場のそれぞれにあるすべての課を回ります。その後に、私の場合は宣伝企画課に配属されました。

——宣伝企画課は自分で選んだのですか。

入社の際に一応希望は聞かれますが、実際は職場とのマッチングがどうかで決まっているようですね。宣伝企画課は楽しい部署だと思っていたので、配属されてよかったです。



——どんなところに楽しさを感じますか。

自分で作り上げる自由さですね。POPなどを一から作るのも、創造力が必要になります。そこが楽しい面でもあり、難しい面でもありますが、やりがいがありますね。

——でん六の魅力を一言でいうと、どう表しますか。

社員がみんなフレンドリーなところですよ。9割方山形弁が飛び交っているので、温かい感じになりますね。親近感がわくというか（笑）。

——ホームページを拝見すると、社長さんの挨拶があったり、社内報にも社長さんが載っていたりして、経営者と社員の距離が近いのかなと感じたのですが、実際に働いていかがですか。

毎週月曜と金曜の事務所内の朝礼では、必ず社長挨拶の時間があります。そのときに、ご自身が生活する中での気づきや感動したことなどを社員に話してくれますので、身近に感じることもあります。また、社外へ外出する際や会社へ戻られた際には必ず社員へ「行ってきます。」「ただいま戻りました。」と一言声掛けしてくれます。



(3) ある日の過ごし方編

●8:30 【出社】

事務服に着替えたのち、事務所スタッフで朝礼を行います。

●9:00 【社内報作成】

社内のイベント等をまとめた冊子を作成します。全体のバランスを見ながら大体のレイアウトを決め、印刷会社にデータを渡します。



●12:00 【お昼休憩】

食堂もありますが、毎日弁当を作っているため、事務所2階の休憩スペースで食べています。

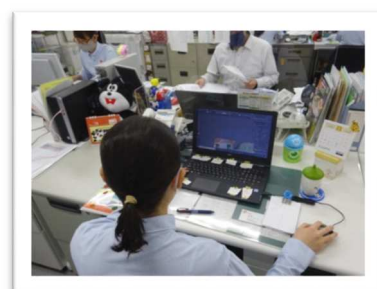


●13:00 【工場内で撮影】

社員の多くは工場勤務のため、本社や蔵王の森工場の現場に直接行って撮影することもあります（その際は工場用の作業着を着ます）。久々に工場に入ると迷ってしまいます…。

●15:00 【POP作成】

営業担当からPOP依頼がくることも多いため、ソフトを使って商品のPOPを作成します。在学中デザイン関係は学んでこなかったため、日常生活の中で見るPOPや広告を見ながら今も勉強中です。



●17:30 【退勤】

退勤後はテレビやアニメを見ています。天気の良い日には散歩したりもします。

(4) むらやまでの暮らし編

——退勤後はどのように過ごしていますか。



5時半に退勤してからは、散歩することが多いです。最近はお気に入りの散歩コースですね。晴れている日は結構行きます。週2、3日ぐらい。夜風に触れるのが癒しになるので（笑）。

——休日はどんな過ごし方をしているのですか。

ドライブが趣味なので、あちこちに行っています。芸工大の近くにある「悠創の丘」から見る夕日が好きで、ちょくちょく行きます。あと、朝日町にある「椹平の棚田」の稲刈り前の風景が絶景でした。ここはお勧めしたい場所ですね！



——好きな食べ物は何かありますか？

果物は全部好きですが、特にスイカが大好きです。お盆の時期に尾花沢スイカを1人で1玉食べるぐらい好きです。毎年お腹壊してしまいますが…（笑）。尾花沢スイカはおすすめです。

——でん六の商品では何かありますか。

入社前から好きだったのが、「抹茶あずきチョコ」という商品です。これは若い女性にも支持率が高いと思います！入社してからはポリッピーが好きになりました。特に塩味が好きです。美味しいですよ！

(5) まとめ編

——今後の目標はありますか？

でん六の商品を、若年層にもっと広めたいですね。私から見て、でん六商品は、高齢層に多く楽しまれているという印象があります。逆に、若い人たちはお菓子を買いに行くと、チョコレートなどのコーナーを探すことが多いと思います。でん六商品が置かれているのは、おつまみコーナーですので、若い人たちの目にとまりにくいのではないかと自分でも実感しています。

SNS や目に触れる POP を活用して、若い世代をもっと取り込むのが私の仕事ですので、いま頑張っているところです。



——今後、就職活動を行う方へメッセージがあればお願いします。

不安や焦りに捻り潰されそうになる日々が続くと思いますが、泣きたい時には泣いて、泣きながら踏ん張ってください。私は4年生の初め頃に、目を腫らした日々がありました。周りで「内定をもらった」という話を聞くと、焦りが出てきて、「なんで自分はダメなんだろう」とすごく落ち込む時期がありましたね。

——そういうときはどのようにして解消したのですか。

全力で泣くことです（笑）。ひとりでベッドの脇で泣いて、そして疲れて寝て…次の日になれば元気になる感じです。

——その気持ち、わかるような気がします！就職の軸にしていたものは何かありますか。

「人を楽しませられる仕事」ということは軸にしていた気がします。あと、山形県に就職するというのは自然と軸になっていました。やっぱり社会人になると落ち込むことが多くなるのかなと思い、そうなるとうっかり心の距離も物理的距離も近い山形県の人たちと一緒にいたいなと思い、県内就職を考えました。

——人事担当の齋藤さんにお聞きしますが、女性活躍推進のために取り組んでいることはありますか？



齋藤さん：今後5年間で、女性管理職を増やすという目標を掲げています。そのために、女性専用のキャリアアップセミナーを随時受けられるように計画しています。あとは、セクハラやパワハラが起こらないように相談窓口を設けています。

育休制度は、希望する女性のほぼ100%が使っていますね。出産後の復帰率はほぼ100%です。男性はまだ1名しかとっていませんが、取得してもいいんだという雰囲気づくりをしていきたいです。

——ありがとうございました！

訪問してみると本当に山形弁が飛び交っていて、温かい雰囲気伝わってきました。POP作りやCM制作など、あまり経験できない仕事にも挑戦できることが魅力でした。今後ますますグローバルに活躍していくであろう、でん六の未来にもワクワクします！



【インタビュアー：山形大学工学部 河田垂依、人文社会科学部 久山拓真】

株式会社でん六

★花のまちづくりコンクール農林大臣賞 緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞

FSSC22000 認証取得

- ・所在地 山形市清住町3丁目2-45
- ・設立 昭和28年5月
- ・従業員数 805名（男性428名、女性377名）
- ・URL <http://www.denroku.co.jp/>

